

Q4

麻疹風疹混合ワクチン（麻疹ワクチン）の予防接種に関する米国の状況を教えてください。

A

米国における予防接種諮問委員会（Advisory Committee on Immunization Practices：ACIP）は麻疹の予防接種についての勧告を公表しています。主な内容として、子どもの麻疹ワクチン接種はMMRワクチンの2回接種を勧めています。一般に初回接種は生後12～15カ月、追加接種4～6歳（幼稚園入園時あるいは小学校入学時）、流行地域では初回接種を生後12カ月としています。

米国のほとんどの州では学校保健法により、規定の予防接種が完了していないと入学できない、あるいはその理由書を提出することになります。また、成人での罹患防止のために、短大や大学の学生、医療関係者は、入学時や雇用時に、生後1年以降に2回の接種を受けた記録（接種済み証明書又は母子健康手帳等）、あるいは麻疹罹患歴の提出を求めるとしています。米国への転勤、移住、留学にあたっては、これらの点に十分留意しておく必要があります。